

令和6年度

教育委員会の事務に関する点検評価報告書
(令和5年度対象)

令和6年11月
人吉市教育委員会

目 次

<はじめに>	1
人吉市教育委員会の構成（令和6年9月1日現在）	
地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）	
1 教育委員会の活動及び運営状況	
(1) 教育委員会の概要	2
○教育委員会の目的	2
○人吉市教育委員会委員（令和5年度）	2
(2) 教育委員会の主な活動内容	2
○教育委員会の活動状況	2
○教育委員会会議	3
① 会議の開催状況（令和5年度実績）	
② 審議状況	
(ア) 付議案件数	
(イ) 会議に付された主な案件	
○総合教育会議	3
① 会議の開催状況（令和5年度実績）	
② 協議状況	
③ 会議に付された主な案件	
○教育長及び教育委員の活動	3
① 所管施設訪問状況	
(ア) 学校訪問	
(イ) 他の主な会議・行事等	
2 点検及び評価の目的	11
3 学識経験者の知見の活用	11
○学識経験者	
4 点検及び評価の対象	11
○人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業	
5 点検及び評価の結果	12
(1) 総合評価基準	12
(2) 点検評価シート（7事業）	
人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）	13
就学援助費・就学奨励費	15
学校給食事業	17
校区公民館事業	19
スポーツ施設整備事業	21
史跡人吉城跡保存整備事業（補助）	23
人吉市童話発表大会	25
《基本理念》 《教育目標》	27

<はじめに>

人吉市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民への説明責任を果たすため、令和5年度事業の点検及び評価を実施し、その結果を報告書にまとめ、議会に提出するとともに公表します。

人吉市教育委員会

人吉市教育委員会の構成

(令和6年9月1日現在)

教育長	志波 典明
委員 (教育長職務代理者)	大園 恭幸
委員	永田 ミキ
委員	加賀 邦保
委員	岡本 麻美

地方教育行政の組織及び運営に関する法律《抜粋》

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

1 教育委員会の活動及び運営状況

(1) 教育委員会の概要

〔教育委員会の目的〕

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」において、教育委員会の基本理念として、地方公共団体における教育行政は、教育基本法の主旨にのっとり、教育の機会均等、教育水準の維持向上及び地域の実情に応じた教育の振興が図られるよう、国との適切な役割分担及び相互の協力の下、公正かつ適正に行われなければならないと なっています。

本市においては、人吉市総合計画を上位計画として、人吉市教育振興基本計画に基づいた教育目標の達成に向けて、教育委員会委員及び事務局を中心に高い使命感を持ちながら市民の意向を反映した責任ある教育行政が実現できるように努めています。

〔人吉市教育委員会委員〕

(令和5年度)

役職名	氏名	就任	任期満了
教育長 (新制度教育長)	志波 典明	令和3年7月1日 令和6年7月1日再任	令和9年6月30日
委員 (職務代理者)	大園 恭幸	令和4年4月10日	令和8年4月9日
委員	永田 ミキ	平成28年10月1日 令和3年1月1日再任	令和6年12月31日
委員	加賀 邦保	令和元年10月1日 令和3年7月1日再任	令和7年6月30日
委員	岡本 麻美	令和3年10月1日	令和7年9月30日

(2) 教育委員会の主な活動内容

〔教育委員会の活動状況〕

教育委員会の活動としては、教育長、教育委員4名で、小学校6校、中学校3校、計9校の学校参観を行いました。引き続き教育現場の声を活かした教育行政を推進していきます。

教育委員会の運営としては、教育委員会会議を13回開催し、審議事項45件、承認・協議事項等18件について審議等を行い、今後取り組むべき事業の方向性を決定しました。

今後も「広報ひとよし」や市ホームページを利用し、定例の教育委員会議等への傍聴の呼びかけを行い、開かれた教育委員会を目指していきます。

〔教育委員会会議〕

① 会議の開催状況（令和5年度実績）

会 議	開催数	傍聴者数
定例会	12 回	3 名
臨時会	1 回	0 名

② 審議状況

（ア）付議案件数

審議事項	45 件
承認・協議事項等	18 件

（イ）会議に付された主な案件

- ・ 人事案件について
- ・ 規則・要項の制定及び改正について
- ・ 一般会計予算について
- ・ 人吉市学校運営協議会委員等の任命について
- ・ 教育委員会の点検及び評価について

〔総合教育会議〕

① 会議の開催状況（令和5年度実績）

会 議	開催数	開催月
総合教育会議	1 回	2 月

② 協議状況

協議事項	教育長及び教育委員出席状況
1 件	5 名

③ 会議に付された案件

- ・ 今後の小中学校の在り方について

〔教育長及び教育委員の活動〕

① 所管施設訪問状況

（ア）学校訪問

区 分	対 象	期 日	教育長及び教育委員出席状況
小学校訪問	6校	令和5年7月～ 令和5年11月	延べ 30人
中学校訪問	3校		延べ 15人

(イ) 他の主な会議・行事等

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
1	臨時的任用教職員辞令伝達式	令和5年4月3日 (月)	1名
2	球磨管内教職員辞令交付式	令和5年4月3日 (月)	1名
3	教職員人事異動に伴う辞令伝達式	令和5年4月3日 (月)	4名
4	新規採用教職員宣誓式	令和5年4月4日 (火)	1名
5	大招魂祭奉納少年剣道大会	令和5年4月5日 (水)	1名
6	学校保健推進合同会議	令和5年4月6日 (木)	1名
7	入学式 (小・中学校)	令和5年4月11日 (火)	5名
8	西瀬コミュニティセンター新築工事起工式	令和5年4月13日 (木)	1名
9	市内校長会議	令和5年4月17日 (月)	1名
10	人吉市食育推進委員会	令和5年4月17日 (月)	1名
11	人吉球磨人権教育研究協議会 第1回代表者会議	令和5年4月18日 (火)	1名
12	教育長・校長合同会議	令和5年4月20日 (木)	1名
13	第1回市内教頭・主幹教諭会議	令和5年4月24日 (月)	1名
14	第64回人吉市民早起きソフトボール大会開会式	令和5年4月26日 (水)	1名
15	「第14回おどんな日本一」全国少年剣道大会	令和5年5月3日 (水)	1名
16	人吉市立教育研究所総会	令和5年5月8日 (月)	1名
17	熊本県市町村教育委員会連絡協議会定例会	令和5年5月10日 (水)	1名
18	人吉市スポーツ推進委員協議会総会	令和5年5月12日 (金)	1名
19	小・中学校体育祭 (第一中・第二中・第三中・大畑小)	令和5年5月14日 (日)	1名
20	全国都市教育長協議会定期総会	令和5年5月17日 (水)	1名
21	犬童球溪頭彰音楽祭協議会 (第1回)	令和5年5月19日 (金)	1名
22	小学校運動会 (東間小・西瀬小)	令和5年5月21日 (日)	1名
23	防災会議、水防協議会、災害対策本部会議	令和5年5月22日 (月)	1名
24	第1回 人吉市校区公民館長連絡協議会	令和5年5月22日 (月)	1名
25	市内校長会議	令和5年5月23日 (火)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
26	カルヴァーリョ・ラッソ人吉 総会	令和5年5月23日 (火)	1名
27	教育長会議・教育推進会議	令和5年5月24日 (水)	1名
28	「熊本の学び」研究指定校研究授業	令和5年5月24日 (水)	1名
29	人吉市人権教育推進連絡協議会 第1回運営委員会	令和5年5月25日 (木)	1名
30	令和5年度NPO法人人吉市体育協会通常総会	令和5年5月26日 (金)	1名
31	幼・保等、小、中連携会議	令和5年5月30日 (火)	1名
32	租税教育定期総会	令和5年5月30日 (火)	1名
33	球磨教育事務所長講話	令和5年5月31日 (水)	3名
34	人吉市人権教育推進連絡協議会 総会・研修会	令和5年6月2日 (金)	1名
35	人吉市スポーツ少年団総会	令和5年6月2日 (金)	1名
36	人吉市文化財保護委員会 (第1回)	令和5年6月2日 (金)	1名
37	青少年育成市民会議 総会	令和5年6月3日 (土)	1名
38	市P連総会及び懇親会	令和5年6月3日 (土)	1名
39	東校区民体育祭	令和5年6月4日 (日)	1名
40	人吉球磨地区特別支援連携協議会	令和5年6月5日 (月)	1名
41	第1回人吉市教育支援委員会	令和5年6月6日 (火)	1名
42	中原校区公民館成人講座 開講式	令和5年6月9日 (金)	1名
43	市内教務主任会議	令和5年6月13日 (火)	1名
44	寄附金贈呈式	令和5年6月14日 (水)	1名
45	人吉球磨中体連夏季陸上大会	令和5年6月17日 (土)	1名
46	第一中 学校運営協議会	令和5年6月21日 (水)	1名
47	人吉市国際交流協会 総会	令和5年6月23日 (金)	1名
48	中体連大会	令和5年6月24日 (土) ・25日 (日)	1名
49	第1回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和5年6月29日 (木)	1名
50	人吉西小 学校運営協議会	令和5年6月30日 (金)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
51	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 大村横穴群部会	令和5年6月30日 (金)	1名
52	総合訪問 (東間小)	令和5年7月5日 (水)	5名
53	教育長・校長合同会議	令和5年7月6日 (木)	1名
54	東間小 学校運営協議会	令和5年7月7日 (金)	1名
55	第1回人吉市地域学校協働本部会議	令和5年7月7日 (金)	1名
56	人吉市学校安全衛生委員会	令和5年7月11日 (火)	1名
57	市内校長会議	令和5年7月12日 (水)	1名
58	経営訪問 (人吉西小)	令和5年7月13日 (木)	4名
59	第二中 学校運営協議会	令和5年7月13日 (木)	1名
60	人吉市情報集約担当者会議	令和5年7月13日 (木)	1名
61	経営訪問 (第一中)	令和5年7月14日 (金)	5名
62	第1回人吉市学校給食食物アレルギー対応委員会	令和5年7月14日 (金)	1名
63	総合訪問 (第三中)	令和5年7月18日 (火)	5名
64	第1回いじめ問題対策連絡協議会	令和5年7月18日 (火)	1名
65	第1回制服検討委員会	令和5年7月19日 (水)	1名
66	第1回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和5年7月21日 (金)	1名
67	犬童球溪顕彰音楽祭協議会 (第2回)	令和5年7月26日 (水)	1名
68	人吉球磨人権教育研究協議会 全体会	令和5年7月27日 (木)	1名
69	人吉市 (中学生) 子ども議会事前学習会	令和5年7月28日 (金)	1名
70	就学時の健康診断等に関する事務協議会	令和5年8月7日 (月)	1名
71	初任者 (教員) 研修	令和5年8月8日 (火)	1名
72	令和5年度ひとよし温泉マラソン第1回役員会議	令和5年8月8日 (火)	1名
73	人吉球磨学校保健結核対策委員会	令和5年8月21日 (月)	1名
74	第78回熊本県民体育祭人吉市選手団結団式	令和5年8月25日 (金)	1名
75	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 人吉城跡部会	令和5年8月25日 (金)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
76	教育長会議	令和5年8月29日 (火)	1名
77	第2回制服検討委員会	令和5年8月29日 (火)	1名
78	経営訪問 (人吉東小)	令和5年8月30日 (水)	5名
79	総合訪問 (大畑小)	令和5年8月31日 (木)	5名
80	市内校長会議	令和5年9月1日 (金)	1名
81	人吉球磨総合美展テープカット	令和5年9月7日 (木)	1名
82	第2回人吉市教育支援委員会	令和5年9月11日 (月)	1名
83	第78回熊本県民体育祭菊池地域・山鹿大会	令和5年9月16日 (土)	1名
84	人吉市童話発表大会 (第3回)	令和5年9月24日 (日)	4名
85	人吉球磨人権教育研究協議会 第3回代表者会議	令和5年9月27日 (水)	1名
86	令和5年度ひとよし温泉マラソン第1回実行委員会	令和5年9月29日 (金)	1名
87	東間小学校創立150周年記念式典	令和5年10月1日 (日)	1名
88	小学校運動会 (人吉東小・人吉西小・中原小)	令和5年10月1日 (日)	1名
89	地域の人づくり講座 人吉・球磨教室	令和5年10月4日 (水)	1名
90	教育長会議・教育推進会議	令和5年10月11日 (水)	1名
91	市内校長会議	令和5年10月12日 (木)	1名
92	人吉市 (中学生) 子ども議会リハーサル	令和5年10月12日 (木)	1名
93	球磨人吉中体連駅伝大会	令和5年10月13日 (金)	1名
94	人吉市 (中学生) 子ども議会	令和5年10月16日 (月)	1名
95	人吉市小学校社会体育運営委員会	令和5年10月17日 (火)	1名
96	就学時健診 (中原小)	令和5年10月23日 (月)	1名
97	就学前交流事業	令和5年10月24日 (火)	1名
98	経営訪問 (西瀬小)	令和5年10月26日 (木)	4名
99	就学時健診 (東間小)	令和5年10月31日 (火)	1名
100	人吉文化祭前夜祭	令和5年11月1日 (水)	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
101	経営訪問（第二中）	令和5年11月2日（木）	5名
102	人吉文化祭テープカット	令和5年11月4日（土）	1名
103	第16回ペタンク大会	令和5年11月5日（日）	1名
104	市内校長会議	令和5年11月7日（火）	1名
105	教育長・校長合同会議	令和5年11月8日（水）	1名
106	犬童球溪顕彰音楽祭「碑前祭」「学校発表会」	令和5年11月9日（木）	4名
107	就学時健診（人吉西小）	令和5年11月14日（火）	1名
108	経営訪問（中原小）	令和5年11月15日（水）	5名
109	九州地区教育研究所連盟研究発表大会	令和5年11月16日（木） ・17日（金）	1名
110	学校支援ボランティアの集い 「われら人よし 活き域 学校応援団」	令和5年11月19日（日）	1名
111	熊本の学び研究発表会	令和5年11月20日（月）	1名
112	第2回市内教頭・主幹教諭会議	令和5年11月21日（火）	1名
113	就学時健康診断（大畑小）	令和5年11月23日（木）	1名
114	就学時健康診断（西瀬小）	令和5年11月24日（金）	1名
115	第2回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和5年11月25日（土）	1名
116	教育長会議	令和5年11月28日（火）	1名
117	就学時健康診断（人吉東小）	令和5年11月28日（火）	1名
118	人吉市奨学金選考委員会（第1回）	令和5年11月29日（水）	1名
119	中原コミセン 閉講式	令和5年12月8日（土）	1名
120	第70回人吉駅伝大会	令和5年12月10日（日）	1名
121	人吉市特別支援連携協議会研修会	令和5年12月11日（月）	1名
122	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」（第一中）	令和5年12月12日（火）	1名
123	第71回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結団式	令和5年12月12日（火）	1名
124	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」（あさぎり町立上小）	令和5年12月13日（水）	1名
125	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」（相良村）	令和5年12月14日（木）	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
126	人吉市奨学金選考委員会（第2回）	令和5年12月16日（土）	1名
127	第71回球磨一周市町村対抗熊日駅伝大会	令和5年12月17日（日）	1名
128	人吉球磨地区租税教室推進協議会 「税に関する表彰」（山江村）	令和5年12月18日（月）	1名
129	第3回人吉市教育支援委員会	令和5年12月18日（月）	1名
130	市内校長会議	令和5年12月20日（水）	1名
131	命の授業	令和5年12月22日（金）	1名
132	第4回制服検討委員会	令和5年12月26日（火）	1名
133	人吉市成人式	令和6年1月3日（水）	5名
134	第2回人吉市社会教育委員会（公民館運営審議会）	令和6年1月11日（木）	1名
135	教育長会議	令和6年1月12日（金）	1名
136	人吉球磨読書感想画コンクール表彰式（第39回）	令和6年1月14日（日）	1名
137	市内校長会議	令和6年1月15日（月）	1名
138	人吉市文化財保護委員会（第2回）	令和6年1月22日（月）	1名
139	第3回「地域の人づくり講座 人吉・球磨教室」	令和6年1月23日（火）	1名
140	第41回熊日郡市対抗女子駅伝大会並びに第50回郡市対抗熊日駅伝大会人吉市選手団結団式	令和6年1月23日（火）	1名
141	令和5年度ひとよし温泉マラソン第2回役員会議	令和6年1月26日（金）	1名
142	第70回文化財防火デー	令和6年1月27日（土）	1名
143	人吉市学校安全衛生委員会	令和6年1月30日（火）	1名
144	第1回人吉市中学校部活動地域移行検討会設立準備会	令和6年1月30日（火）	1名
145	人吉市体育施設事故防止対策審議会	令和6年2月5日（月）	1名
146	市内校長会議	令和6年2月7日（水）	1名
147	第3回市内教頭・主幹教諭会議	令和6年2月8日（木）	1名
148	第2回人吉市学校給食センター運営委員会総会	令和6年2月13日（火）	1名
149	いじめ問題対策連絡協議会	令和6年2月14日（水）	1名
150	教育長・校長合同会議	令和6年2月15日（木）	1名

	会議・行事名	期 日	教育長及び 教育委員 出席状況
151	第 5 回制服検討委員会	令和6年2月16日 (金)	1名
152	球磨郡・人吉市スポーツ推進委員研修会	令和6年2月17日 (土)	1名
153	市内教務主任会議	令和6年2月19日 (月)	1名
154	第 2 回人吉市地域学校協働本部会議	令和6年2月27日 (火)	1名
155	令和 5 年度ひとよし温泉マラソン第 3 回役員会議	令和6年2月27日 (火)	1名
156	令和 5 年度ひとよし温泉マラソン第 2 回実行委員会	令和6年2月27日 (火)	1名
157	第 2 回人吉市中学校部活動地域移行検討会設立準備会	令和6年2月28日 (水)	1名
158	市内校長会議	令和6年3月1日 (金)	1名
159	人吉市食育推進委員会総会	令和6年3月1日 (金)	1名
160	人吉市指定文化財等保存活用専門会議 人吉城跡部会	令和6年3月8日 (金)	1名
161	第 2 2 回全九州実業団 9 人制バレーボール男女選手権大会	令和6年3月9日 (土)	1名
162	中学校卒業式	令和6年3月10日 (日)	5名
163	人吉市小学校社会体育運営委員会 総会	令和6年3月13日 (水)	1名
164	第 2 回人吉市特別支援連携協議会	令和6年3月15日 (金)	1名
165	第 6 回制服検討委員会	令和6年3月18日 (月)	1名
166	第 3 回人吉市校区公民館長連絡協議会	令和6年3月19日 (火)	1名
167	小学校卒業式	令和6年3月21日 (木)	5名
168	第 3 回人吉市社会教育委員会 (公民館運営審議会)	令和6年3月26日 (火)	1名
169	人吉市奨学生決定通知者交付式	令和6年3月27日 (水)	1名
170	退職者辞令交付式	令和6年3月29日 (金)	1名

2 点検及び評価の目的

平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部が改正され、平成20年4月から施行されました。法改正の目的「教育委員会の責任体制の明確化」の一つとして「教育委員会の点検及び評価」が位置付けられています。

教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすことを目的としています。

3 学識経験者の知見の活用

点検評価の客観性を確保するために「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」を図ることとなっています。

広い観点からの知見の活用を図るため、担当課が行った点検評価の結果について3名の学識経験者から様々な御意見、御助言をいただきました。

[学識経験者]

あだち きみこ 安達 貴美子 氏	元小学校校長
まるもと ゆかり 丸本 縁 氏	元市役所職員
みやざき まさゆき 宮崎 正幸 氏	市PTA連絡協議会推薦

4 点検及び評価の対象

令和5年度中に人吉市教育振興基本計画に基づき実施した7事業について、点検及び評価を行いました。

[人吉市教育委員会が点検及び評価を行った事業]

課名	点検及び評価を行う事業
学校教育課	人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）
	就学援助費・就学奨励費
	学校給食事業
社会教育課	校区公民館事業
	スポーツ施設整備事業
文化課	史跡人吉城跡保存整備事業（補助）
	人吉市童話発表大会

5 点検及び評価の結果

教育委員会においては、学識経験者の知見の活用を図りながら事業評価を行い、今後の方向性を示す総合評価をA～Dで表し、最終的な点検評価として意見をまとめました。

(1) 総合評価基準

区分	評価結果に基づく改善等の内容	内容の詳細
A	継続して管理・運営を進めることが適当	特に問題もなく進捗状況も順調で、計画的に事業を進めるもの。
B	事業の進め方を改善検討し、事業は継続	進捗状況は順調であり、事業内容にも意義があるため継続が望ましいと判断できるが、事業の進め方等に改善の余地があるもの。
C	事業規模・内容、または実施主体の見直しを検討	進捗状況も芳しくなく、結果もあまり期待できないが、事業規模・内容・実施主体に改善の余地があるもの。
D	事業の抜本の見直し、休・廃止の検討	進捗状況が大幅に遅れており、事業そのものに行政が関与する必要がなく休・廃止が望ましいもの。

(2) 点検評価シート（7事業）

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市奨学金事業（貸与型・給付型）					
2	担当課名	学校教育課		担当者	米原真由美		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		21	子ども・子育て支援の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	経済的理由により修学困難な者 ・高等学校、高等専門学校又は専修学校（高等課程、専門課程）、大学に進学する者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	向学心に富み、能力があるにもかかわらず経済的理由により修学困難な者に対して学費（以下「奨学金」）を貸与又は給付し、その能力に応じた教育を受ける機会を与え、もって有用な人材を育成することを目的とする。				
6	事業の概要	市の奨学金制度は、高校生を対象とした返還を必要とする「貸与型奨学金制度」を昭和34年度に施行したことに始まる。平成5年度から対象者を大学生までに拡大し、令和5年度末までに計158名の学生に奨学金を貸与してきた。 また、令和3年度に入学時祝金として支給する「給付型奨学金制度」を新設し、令和5年度は高校生（5万円）6名、大学生（20万円）1名の計7名に支給した。 奨学生選考については、4名の選考委員による選考委員会を開催し、書類及び面接により厳正に選考した結果を教育委員会議で審議し、承認している。				
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
		合計	19千円	36千円	87千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	19	36	87			

事業の成果と課題																						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	○貸与月額	<table border="1"> <tr> <td></td> <td>国公立</td> <td>私立</td> </tr> <tr> <td>大学生・専門学校生</td> <td>3万円</td> <td>4万円</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>1万円</td> <td>2万円</td> </tr> </table>					国公立	私立	大学生・専門学校生	3万円	4万円	高校生	1万円	2万円							
			国公立	私立																		
大学生・専門学校生	3万円	4万円																				
高校生	1万円	2万円																				
○給付額	<table border="1"> <tr> <td>令和4年度採用まで</td> <td>給付額</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>大学生・専門学校生</td> <td>20万円</td> <td rowspan="2">⇒</td> <td>令和5年度採用から</td> <td>給付額</td> </tr> <tr> <td>高校生</td> <td>5万円</td> <td>大学生・専門学校生</td> <td>40万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>高校生</td> <td>10万円</td> </tr> </table>				令和4年度採用まで	給付額			大学生・専門学校生	20万円	⇒	令和5年度採用から	給付額	高校生	5万円	大学生・専門学校生	40万円				高校生	10万円
令和4年度採用まで	給付額																					
大学生・専門学校生	20万円	⇒	令和5年度採用から	給付額																		
高校生	5万円		大学生・専門学校生	40万円																		
			高校生	10万円																		
		○令和5年度に奨学生として採用した学生（令和6年度入学後に貸与及び給付） 貸与型：高校生1名 給付型：高校生3名、専門学校生1名 貸与型奨学生については、高校生1名の応募があり、採用となった。 給付型奨学生については、専門学校生1名、高校生4名の応募があり、高校生1名を除く4名が採用となった。入学後に必要となる経費を考慮し、令和5年度に採用となった奨学生から給付額の増額を行っており、入学時の負担軽減ができたと考えられる。 また、奨学生決定通知交付式を行い、奨学金基金の意義や寄附者の思いを伝えることができたことは、持続可能な奨学金制度の運営に有意義であった。																				
9	今後の課題や改善等	利用しやすい制度とするため、令和5年度採用に向けて規則の改正を行った。給付型については、給付内容を拡充し、給付型貸与型ともに他の給付型奨学金との併給制限を撤廃した。 令和5年度は、規則の改正を行った後の募集となり、周知の時間を十分に確保することができなかったものの、例年並みの応募があった。今後は、早い時期から市のホームページに掲載を行うなど制度の周知に力を入れ、応募者の増加を目指す。 貸与型奨学金については、返還に遅れがみられる者に対し、電話や文書通知による連絡を行い、滞納額が減少した。今後も継続して連絡をとるなど、滞納額の減少・納付遅延解消に努める。																				

事業の評価と今後の事業計画

	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10		B	<p>昨今の厳しい経済状況の中で、給付型奨学金の拡充をし、経済的負担の軽減を図ることができたが、採用人数に対し応募者が少ないことが課題となっている。奨学金を必要とする学生のもとに情報が届くように学校とも連携を図っていく。</p> <p>また、奨学金の返済が全国的に問題となる中、奨学金の利用条件や返済計画等を学生に分かりやすく伝え、適切な選択につなげるよう努めていく。本市の奨学金は無利子であることから、制度を積極的に周知し、選択肢のひとつとしてもらえるようにしていく必要がある。</p>

学識経験者の意見

11	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰が続く状況の中で、給付型奨学金の給付額を増額することで、就学時の経済的負担の軽減が図られた。 ○考え得るあらゆる場面で、給付型、貸与型それぞれの特徴を分かりやすく積極的に周知していき、活用してもらうことで、有用な人材の育成に資することを期待する。 ○給付型の給付金額が上がり学生の入学時の負担軽減につながっていることは、大変ありがたい。 ○貸与型の奨学金については、返済の際に滞納につながらないように計画的に借りられるようするため、相談しながら借りられるようにしてほしい。 ○有効な制度を活用する学生が少ないことから、広く周知して、志高く進学を希望する若者に届けられるようにしてほしい。 ○奨学金の支援は今後も必要なので、継続して行ってほしい。上限金額内で金額を選択できるなどの方法も検討いただきたい。
----	---

教育委員会の評価

	総合評価	
12	B	<p>物価高騰が続く厳しい経済状況の中、奨学金を貸与又は給付し、その能力に応じた教育を受ける機会を与える奨学金制度は、意義のある事業として今後も継続していく必要がある。意義のある事業として最大限の効果を生み出すためにも、奨学金を必要としている学生に情報が届き、活用してもらえるよう、あらゆる手段を通して事業の周知徹底を図っていく。</p> <p>事業を継続していくためには、返済義務のある貸与型を活用する学生に対する返済計画等についての丁寧な説明や、滞納額減少及び納付遅延解消に向けた納付勧奨に努める必要がある。</p> <p>利用しやすい、持続可能な制度として今後更に充実させるため、随時検討見直しを行う必要があることから、「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	就学援助費・就学奨励費					
2	担当課名	学校教育課		担当者	山本 研央		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		21	子ども・子育て支援の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市（以下「市」）に住所又は居所を有する児童生徒又は就学予定者（市に住所又は居所を有していない者のうち、特別の事情のため、市内の学校に就学している者を含む。）の保護者であって、経済的理由により就学困難な者。			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	学用品費や給食費、修学旅行費等の就学に必要な費用を援助することにより義務教育の円滑な実施に資することを目的とする。			
6	事業の概要	公立の小・中学校では義務教育のため、授業料は発生しないとは言え、授業料以外の教育費がかなりかかる。そのため、経済的に厳しい家庭では、子供を学校に通わせるだけでも家計に大きな負担がかかることもある。このように経済的理由により就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるよう、就学に必要な費用の援助を行う。			
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
		合計	34,306千円	33,502千円	38,470千円
		① 国庫補助金	1,887	1,836	1,219
		② 県補助金			
		③ 起債			
		④ その他			
⑤ 一般財源	32,419	31,666	37,251		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>【就学援助費】 ■要保護者 支給額：274,720円 (R5) ← 201,860円 (R4) 支給人数：8人 (R5) ← 10人 (R4) ■準要保護者 支給額：30,022,767円 (R5) ← 30,682,758円 (R4) 支給人数：416人 (R5) ← 395人 (R4)</p> <p>【就学奨励費】 支給額：3,479,369円 (R5) ← 3,623,865円 (R4) 支給人数：94人 (R5) ← 89人 (R4) ※対象児童生徒の学年によって、支給額は異なる。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>就学援助費及び就学奨励費の支給人数が年々増加傾向にあることから、経済的理由により就学困難な者が多くなっていることがわかる。また、学年費や給食費等の滞納世帯が多く、回収に苦労しているという学校や給食センターからの報告も上がってきている。そのため、支給額を増額する等、金銭的な援助がより必要だと考える。</p>

事業の評価と今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>近年、新型コロナウイルス感染症や令和2年7月豪雨、世界的な物価高騰等、様々な事象の煽りを受け、家計の負担が大きくなっている。特に世界的な物価高騰については今後も続く見込みであり、エスカレートする可能性もある。</p> <p>今後は、市の財政状況を考慮しつつ国の就学援助補助金の上限の範囲内で保護者への支給額を増額し、家計の負担を減らすことで就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できるよう努める。</p>

学識経験者の意見

11	<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰による家計への負担圧迫が続く中、助成を行うことで、経済的理由等により就学困難な家庭の児童生徒が、安心して学習できる環境づくりに寄与した。 ○金銭的な助成は重要であるが、加えて、子育ての相談・支援体制についても、福祉部門との連携を密にして、充実が図られることを期待する。 ○物価高騰の中、各家庭の教育費もかなりの負担になっている家庭が多いと考える。その中で、就学援助費や就学奨励費等を利用する人数も年々増え続けている。支給方法が窓口から銀行振込に変更になる等、少しずつ改善点が見られ、大変ありがたいことである。 ○保護者の負担が軽減され、子どもたちが楽しく学校生活を送ることができるよう、毎年少しずつでも改善を続けていってほしい。
----	--

教育委員会の評価

12	B	<p>物価高騰による家計への負担が増加する中、就学困難者も増加傾向にある。就学に必要な費用を援助する本事業は、保護者の負担を軽減するとともに、児童生徒が安心して学校生活を送ることにつながっており、重要かつ必要な事業である。</p> <p>今後も経済的理由による就学困難者の増加が見込まれることから、確実に対象児童生徒の教育環境の整備に使われるよう対応していく必要がある。</p> <p>財源の確保や認定基準の見直し、支給額の増額等により、よりよい改善を図る必要があることから、「B」を選択した。</p>
----	---	---

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	学校給食事業					
2	担当課名	学校教育課		担当者	井本浩司		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		9	学校教育の充実

事業の内容					
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市内小・中学校の児童・生徒及びその保護者			
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	給食食材の高騰に伴い、現在の給食費では児童生徒の給食の質を保つことが困難な状況になっている。保護者にさらなる負担を強いることなく、給食の質を保つため、食材費高騰分を助成するもの。 給食費公会計化に伴うシステム構築及び事務の効率化を図るもの。			
6	事業の概要	物価高騰に伴う給食単価の値上げに対し保護者負担の増加が無いように、高騰分の助成を行い保護者の負担軽減を行った。 給食費単価一食 小学生241円（保護者182円、助成59円）、中学生282円（保護者221円、助成61円） 私会計から公会計化に伴うシステム導入を行った。 令和5年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創成臨時交付金 12,312千円			
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
		合計	7,940千円	16,393千円	329,930千円
		① 国庫補助金	7,940	16,393	9,418
		② 県補助金			
		③ 起債			44,000
		④ その他			110,961
⑤ 一般財源	0	0	165,551		

事業の成果と課題	
8	<p>成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】</p> <p>本来であれば、給食にかかる食材費は保護者が負担しなければならないが、食材費高騰分について助成することで、保護者に追加の負担を強いることなく、量質ともに安定した給食を提供することができた。 公会計化に伴い、給食費の徴収事務及び方法を学校から市役所が行うことで学校への負担軽減及び納付書払いから口座振替による保護者への負担軽減を図るためのシステムを導入することができた。</p>
9	<p>今後の課題や改善等</p> <p>今後も食材費及び光熱費等の物価高騰に伴い、今後においても給食単価を精査し、市及び保護者負担を見直し献立作成がスムーズにできるようにしたい。 更なる上昇分を保護者に負担を強いることがないよう、助成及び給食費無償化等に向けて検討していきたい。 公会計化に伴い、システムを活用と事務の見直しを行ない、給食費収納及び滞納整理事務の効率的運用を図っていきたい。 学校給食センター施設設備改修工事（空調機器） 工事費53,490千円 財源 学校施設環境改善交付金 9,418千円 学校給食センター改修事業債44,000千円 賄材料費 132,010千円 財源 学校給食費 100,251千円（その他）</p>

事業の評価と今後の事業計画			
10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
			B
学識経験者の意見			
11			<ul style="list-style-type: none"> ○物価高騰が続く中、保護者への追加負担を強わずに給食の質を維持するためにも、国からの交付金が続く限り高騰分の助成を継続してほしい。 ○給食費の公会計化に伴い、給食費の徴収事務が学校から市に移管したこと、また、口座振替の導入により、学校及び保護者の負担の軽減が図られた。 ○学校給食が公会計となり、学校関係も大変助かっていると思う。その分、給食センターは作業量も増え、人員増にならずに苦勞されていることがうかがえる。できれば、給食センターに人員を増やしてほしいところである。 ○原材料費や人件費の値上げに対応いただき、感謝している。給食費の公会計化に伴い、未納額が減少すればいいと思う。

教育委員会の評価		
12	総合評価	
		B

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	校区公民館事業					
2	担当課名	社会教育課		担当者	松島 泰代		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民（就学前「年少」～小学生～中学生～成人）				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	「誰もが、いつでも、どこでも」生涯にわたって学び続けることのできる生涯学習社会の実現に向けて、市民への総合的な学びの機会や情報を提供し、その学びを通して人材育成及び地域コミュニティの形成を図るとともに、その人材が地域で生かされる支援体制の構築を目指すもの。				
6	事業の概要	市内6校区において学習の拠点として校区公民館（コミュニティセンター）を位置付けており、校区の実情を的確に把握し、校区に根ざした運営・活動を実施することができる各校区公民館運営委員会に業務を委託している。 各運営委員会において、校区民のニーズや地域の特性などを考慮した「校区公民館講座」等を企画し、様々な分野における学習の機会を提供する。				
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
		合計	2,255千円	2,251千円	2,701千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
	⑤ 一般財源	2,255	2,251	2,701		

事業の成果と課題																																																			
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>■校区公民館講座</p> <table border="0"> <tr> <td></td> <td>【成人講座】</td> <td></td> <td>【子ども講座】</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○東西コミセン</td> <td>： 8講座、受講者数 89人</td> <td></td> <td>5講座、受講者数 66人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○東間コミセン</td> <td>： 8講座、受講者数 97人</td> <td></td> <td>1講座、受講者数 10人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○大畑コミセン</td> <td>： 5講座、受講者数 46人</td> <td></td> <td>2講座、受講者数 23人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○西瀬コミセン</td> <td>： 5講座、受講者数 60人</td> <td></td> <td>2講座、受講者数 16人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>○中原コミセン</td> <td>： 7講座、受講者数 88人</td> <td></td> <td>1講座、受講者数 8人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R5合計</td> <td>： 33講座、受講者数 380人</td> <td></td> <td>11講座、受講者数 123人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>(前年比)</td> <td>± 0講座、受講者数 +41人</td> <td></td> <td>+1講座、受講者数 +31人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>R4合計</td> <td>： 33講座、受講者数 339人</td> <td></td> <td>10講座、受講者数 92人</td> <td></td> </tr> </table> <p>西瀬コミセンは、令和2年7月豪雨で施設が被災したため、校区内の自治公民館等を利用し講座を実施した。</p>						【成人講座】		【子ども講座】		○東西コミセン	： 8講座、受講者数 89人		5講座、受講者数 66人		○東間コミセン	： 8講座、受講者数 97人		1講座、受講者数 10人		○大畑コミセン	： 5講座、受講者数 46人		2講座、受講者数 23人		○西瀬コミセン	： 5講座、受講者数 60人		2講座、受講者数 16人		○中原コミセン	： 7講座、受講者数 88人		1講座、受講者数 8人		R5合計	： 33講座、受講者数 380人		11講座、受講者数 123人		(前年比)	± 0講座、受講者数 +41人		+1講座、受講者数 +31人		R4合計	： 33講座、受講者数 339人		10講座、受講者数 92人	
	【成人講座】		【子ども講座】																																																
○東西コミセン	： 8講座、受講者数 89人		5講座、受講者数 66人																																																
○東間コミセン	： 8講座、受講者数 97人		1講座、受講者数 10人																																																
○大畑コミセン	： 5講座、受講者数 46人		2講座、受講者数 23人																																																
○西瀬コミセン	： 5講座、受講者数 60人		2講座、受講者数 16人																																																
○中原コミセン	： 7講座、受講者数 88人		1講座、受講者数 8人																																																
R5合計	： 33講座、受講者数 380人		11講座、受講者数 123人																																																
(前年比)	± 0講座、受講者数 +41人		+1講座、受講者数 +31人																																																
R4合計	： 33講座、受講者数 339人		10講座、受講者数 92人																																																
9	今後の課題や改善等	令和2年7月豪雨及び新型コロナウイルス感染症の影響により、外出の習慣がなくなった市民も多く、参加者数がコロナ禍以前に届いていない。(R元：成人講座35講座、受講者数514人、子ども講座12講座、受講者数190人) 講座申込については、WEBを活用した申込方法を取り入れるとともに、参加費の支払いについても、電子化を図ることができないかを検討する。																																																	

事業の評価と今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>新型コロナウイルスが5類に移行したものの、依然として人が集まる場所へ行くことに抵抗感がある高齢者もあり、水害及びコロナ禍前の参加者数の水準には達していない状況である。</p> <p>令和2年7月豪雨で被災した西瀬コミセンについては、令和5年度末に移転新築工事が完了したため、令和6年度はコミセンで講座を開講することができる。</p> <p>また、講座の申込方法や手続き等に対し、受講者の利便性を向上させ、受講者の増加を図り、共に学びつながりを持つことで、豪雨災害及び新型コロナウイルス感染症の影響により希薄化している地域コミュニティの再生を図りたい。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○校区公民館事業は、子ども及び成人に生涯学習の機会を提供する場として意義あるものである。多様な講座の積極的な周知と、受講申し込みの利便性向上のための更なる取り組みを期待する。</p> <p>○小学校の部活動を行っていない現在、児童が自分の好きなことを選んで取り組める講座はとても大切だと考える。</p> <p>○一人でも多くの児童が参加できるように、講座の申し込みを学校に配付し、申し込みしやすい状況を作ってほしい。</p> <p>○WEB申し込みが可能となり、保護者の負担も軽減されたことは望ましいが、講座の支払いを窓口だけでなく、他の方法での支払いができるようにしてほしい。</p> <p>○一度体験して、受講につながる場合もあるため、講座無料体験の実施を検討してほしい。</p> <p>○講座内容を動画でも視聴できるようにできないか検討してほしい。</p>
----	--

教育委員会の評価

12	総合評価	
	B	<p>生涯にわたって学び続けることができる生涯学習社会の実現及び豪雨災害・コロナ禍の影響を受けた地域コミュニティの再生を図るための取組として、校区公民館講座は重要な事業であり、今後も継続していく必要がある。</p> <p>受講者を被災・コロナ禍以前の受講者数に戻すため、校区民のニーズや地域特性等を考慮した魅力ある講座を企画するとともに、講座の周知啓発に努めていく。</p> <p>今後、受講者の利便性を高めることで学習意欲の増加・受講者数の増加につながっていくと考えられる。申込方法や受講料支払いの電子化等検討が必要であることから、「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	スポーツ施設整備事業					
2	担当課名	社会教育課		担当者	縦木 智成		
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		12	スポーツの振興

事業の内容		
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	施設利用者（市民及び市外住民）
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	本市におけるスポーツ施設は、市民の心身の健康増進と体力向上を図り、生涯にわたってスポーツに親しめる環境を提供することを目的としています。 児童生徒の運動能力の向上や、大人のスポーツ活動促進、高齢者の介護予防など、全ての市民がそれぞれのライフステージに応じたスポーツを安全に楽しめる施設環境づくりを目指します。
6	事業の概要	スポーツ施設の整備・改修

7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)
		合計	37,084千円	8,487千円	53,300千円
		① 国庫補助金			17,666
		② 県補助金			
		③ 起債	10,000	3,300	35,300
		④ その他	14,217		
		⑤ 一般財源	12,867	5,187	334

事業の成果と課題		
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	令和5年度は、修繕1件、委託業務2件、改修・復旧工事2件を実施した。具体的な整備事業は次のとおり。 ・人吉市梢山地区多目的グラウンド公衆トイレ内壁の修繕 ・スポーツパレス小アリーナ特定天井落下防止改修工事設計業務委託 ・社会体育施設維持管理業務委託（スポーツパレス樹木伐採、川上球場サブグラウンド整備） ・スポーツパレス排水設備改修工事 ・人吉クレ射撃場法面復旧工事
9	今後の課題や改善等	令和5年度に策定した「人吉市体育施設個別施設計画」に基に、各スポーツ施設の状況を把握している指定管理者の人吉市体育協会と協議をし、優先順位をつけて改修などに取り組んでいる状況ではあるものの、多くのスポーツ施設で、老朽化や経年劣化が進んでいることから、今後も計画的な改修・整備が必要である。

事業の評価と今後の事業計画

10	今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
		B	<p>過疎対策事業債は、過疎地域に指定された自治体が活用できる地方債であるが、財政的に有利な財源であり、令和5年度の一部事業においては、過疎対策事業債を活用し、実施することができた。</p> <p>また、長年の懸案であったクレ射撃場法面復旧については、工法を見直すことで、工事コストの縮減でき、実施することができた。</p> <p>スポーツパレス小アリーナ特定天井落下防止改修工事設計業務委託においては、改修工事の工法選定までできたので、令和6年度に工事に着手し、財源については、国庫補助事業を活用することを予定している。</p> <p>今後の事業推進にあたっては、財政負担の軽減を図りつつ実施していく必要があるため、過疎対策事業債の活用のほか、国庫補助金やスポーツ振興くじ助成金の確保にも努めていきたい。</p>

学識経験者の意見

11	<p>○老朽化が進んでいるスポーツ施設について、工法の工夫や有利な財源の確保を図りながら整備事業を進め、市民がスポーツに親しむことのできる環境づくりに寄与した。</p> <p>○今後も、改修の優先順位を見極めながら、あらゆる財源の確保や工法の検討により、計画的に、費用対効果の高い施設の長寿命化を進めていただきたい。</p> <p>○補助金や過疎対策事業債などを活用することは、財源の少ない中でありがたいことである。</p> <p>○スポーツ施設がたくさんある中、次々と補修や改修などが必要となり、大変なこと多いと思うが、様々な補助金や助成金の確保に努めてほしい。</p> <p>○スポーツ施設の充実を進めてほしい。屋根付きのグラウンドなど、屋外でスポーツが出来る場所があればいいと思う。</p>
----	--

教育委員会の評価

12	総合評価	
	B	<p>市民の心身の健康増進と体力向上を図り、生涯にわたってスポーツを安全に楽しめる施設環境を維持する本事業は、市民が豊かな人生を送るうえで不可欠であり、大変意義のある事業である。</p> <p>財源を有効に活用しながら、優先順位をつけて事業を実施していることは高く評価できる。</p> <p>各スポーツ施設を学校やコミュニティセンター併設で検討すること等も含め、今後も計画的な財源の確保及び事業実施が求められることから、「B」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	史跡人吉城跡保存整備事業（補助）					
2	担当課名	文化課文化政策係			担当者	岸田 裕一	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		11	歴史文化遺産の保存と活用

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	市民及び史跡来訪者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	市道五日町田線沿いに位置する御館跡西側石垣は、石垣の変状を起していることから、崩落の可能性が想定され歩道に面しているため崩落した際の被害の影響が大きくなることが危惧されていた。そのため、石垣の崩落を未然に防ぎ、人的な被害や文化財としての被害が生じないよう対策を進める必要があり事業を実施した。				
6	事業の概要	御館跡西側石垣において解体(88.2㎡)及び積みなおし(34.5㎡)を実施した。本工事で取り扱う石垣は、国指定史跡を構成する文化財であり、石垣の文化財的価値を損なわないよう、事前調査及び解体時における調査を行い、石垣の変状要因を検討した後、統的工法にて積みなおしを実施した。				
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度(実績)	令和5年度(実績)	令和6年度(見込)	
		合計	6,900千円	69,289千円	180,413千円	
		① 国庫補助金	3,421	34,478	106,470	
		② 県補助金	0	3,447	10,647	
		③ 起債	3,400	28,400	63,100	
		④ その他				
⑤ 一般財源	79	2,964	196			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>令和5年度は対象となる石垣の北側の解体工事及び一部積み直しを実施した。解体工事において、同時に実施した石垣背面の発掘調査では、石垣内部から新たな石垣が確認されるなど、人吉城の歴史について、新たな発見もあった。</p> <p>解体後の積み直しでは、旧来の石垣の特徴を変更しないよう、石積の伝統的な技術石材の加工・積み方・間詰石等の仕上げを用いて、石積を行った。</p> <p>また、修理工事に際しては、8月に現地見学会を開催し、市民に向けて石垣修理工事の説明を行うとともに、石垣の石割体験や発掘調査出土品の解説を行った。城の石垣の工事であることから、市民の関心も高く、大人・子ども併せて40名の参加があった。</p>				
9	今後の課題や改善等	今回の事業箇所は歩道に面していることから、早急な対策が必要となり事業に着手したが、人吉城跡内には、今回の事業箇所の他にも、変状が確認される石垣が所在する。こうした石垣の現況を把握するための基礎資料となる、史跡内に所在する全ての石垣の総合調査を実施する必要がある。				

事業の評価と今後の事業計画		
今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	A	<p>人吉城跡の整備において、史跡の本質的価値を有する要素の保存は第一に優先されるべき事項である。</p> <p>人吉城跡内において、き損の恐れがある場所については、その緊急度に応じ、新たなき損を未然に防ぐための措置を講じる必要がある。今後の事業においても、文化財の崩壊を事前に防ぎ、人的な被害が起こらないよう、修理工事等を実施することで史跡を保護し、次世代に継承しつつ、その価値が地域の誇りとして醸成されるような整備活用を目指していく必要がある。</p>

学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> ○崩落の危険があった御館跡西側石垣の解体及び伝統工法による積み直しを行ったことで、崩壊を事前に防ぎ、人的被害の防止、史跡人吉城跡の価値の保存が図られた。 ○人吉城跡は、人吉市民の拠り所として、史跡としての価値はもちろん球磨川と一体となった優れた景観も有しており、今後も適正な保存、環境づくりが行われることを期待する。 ○人吉市の宝でもある人吉城跡を一日も早く修復してほしい。歩道に面しているのので、観光客が立ち寄って美しい城壁が見られるようにしてほしい。 ○今年度も、小中学生対象の城壁の現地見学会を開催し、史跡に触れて学びにつなげてほしい。また、多くの子どもたちや地元の人に今でしか見られない城壁の内部など、貴重な体験をさせてほしい。 ○価値ある人吉城歴史館がリニューアルすることは、市民の明るい灯となり得るニュースである。大々的にリニューアルオープンをしてほしい。

教育委員会の評価	
12	<p>総合評価</p> <p>A</p> <p>人的被害の防止及び史跡人吉城跡保存の工事が行われたことは、歩道を利用する児童をはじめ市民、観光客にとっても大変意義のある事業である。</p> <p>史跡の保存修理を、子ども達や市民に向けた現地説明会の実施で探求の機会とし、史跡に対する興味・関心に繋げることができたことは評価できる。</p> <p>今後、人吉城歴史館のリニューアルに伴い、人の往来等の増加も見込まれるが、人吉城跡内には他にも変状が確認される石垣も所在する。文化財の崩壊防止・人的被害防止の観点から、計画的に石垣の総合調査を行い、危険箇所については国・県と協議し、補助金を有効活用しながら事業を継続していく必要があることから「A」を選択した。</p>

点検評価シート <自己点検評価用> (評価対象：令和5年度事業)

事業名・担当部署							
1	事業名	人吉市童話発表大会					
2	担当課名	文化課図書館係			担当者	田中 芳博	
3	総合計画における政策体系	政策	コード	名称	施策	コード	名称
			2	一人ひとりが学び続ける、豊かな人生づくり		8	社会教育の充実

事業の内容						
4	誰のために行うか 〔具体的な対象者・受益者など〕	人吉市内の小学生及び保護者				
5	何のために行うか 〔目的・ねらい・コンセプト〕	子どもたちに対し、童話に親しむと共に創作活動を活発にする機会を与え、読書意欲の向上や豊かな人間性と表現力の育成を図るため。				
6	事業の概要	<p>第3回人吉市童話発表大会（主催：人吉市教育委員会、共催：人吉市内小・中学校長会及び人吉市PTA連絡協議会）</p> <p>①市内各小学校を通じて人吉市図書館で公募し、低学年の部、中学年の部、高学年の部 からなる小学生の童話発表大会。</p> <p>②童話（日本、外国及び創作もの）、昔話等児童の読みものを、1年生～2年生は5分以内、3年生～6年生は7分以内で発表。出場者が多数の場合は、予選会を実施。本選18名による本大会をカルチャーパレス小ホールで開催する。</p> <p>③本大会において、最優秀賞、人吉市小中学校長会長賞、人吉市PTA連絡協議会長賞として各1名に対し、賞状と記念品を授与。そのほか出場者に対し優秀賞として賞状と記念品を授与する。</p>				
7	コスト 財源内訳	年度	令和4年度（実績）	令和5年度（実績）	令和6年度（見込）	
		合計	107千円	89千円	151千円	
		① 国庫補助金				
		② 県補助金				
		③ 起債				
		④ その他				
⑤ 一般財源	107	89	151			

事業の成果と課題						
8	成果・実績 【数値にできる場合は数値も含めてコメント。数値にできない場合はコメントのみ。】	<p>今回で第3回目を迎えた人吉市童話発表大会は、第2回開催の経験を活かし、大きなトラブルもなくスムーズに開催ができた。出場者については、第2回大会は5年生と6年生を除く10名であったが、第3回大会は3年生と6年生を除く8名で2名減ったものの、それぞれ児童の個性あふれる大会であった。最優秀賞の選出にあたっては5年生2人が、以前の人吉球磨児童による発表大会に出場経験のある児童であり、非常にレベルの高い発表であった。なかでも、最優秀賞を受賞した5年生は、発表の中で歌を取り入れ、斬新な発表に聞くものを魅了した。また、市P連会長賞を受賞した児童は1年生で唯一の出場者でありながら、堂々と発表する姿は保護者との練習の成果であり、たいへん素晴らしいものであった。なお、出場者全員が保護者と一緒に練習を積み重ねてきたことがよくわかる発表であり、また、大きなステージで緊張したなかで、それぞれが創意工夫をこらした豊かな表現であり、聞く者に感動を与える大会であった。</p> <p>過去出場者実績</p> <p>第1回大会 新型コロナウイルス感染症拡大により、ビデオ撮影会（5名）を実施。</p> <p>第2回大会 人吉東小学校1年生1名、人吉西小学校1年生2名、4年生2名、東間小学校1年生2名、3年生1名、中原小学校2年生1名、大畑小学校4年生1名の合計10名。</p>				
9	今後の課題や改善等	<p>市内各小学校の児童数の多少はあるものの、出場者が多いとは言い難い状況である。そのため各小学校長を訪問し、大会出場へ児童の後押しをお願いしたが、出場申込書等の配布時期が夏休み直前であったため、もっと早い時期の配布でないと厳しいとご指摘をいただいていた。次大会は早めの時期に配布が必要である。</p>				

事業の評価と今後の事業計画		
今後の事業の方向性	総合評価	左の「総合評価区分」を選択した理由
10	B	第2回大会と同様に出場者数が多いとは言い難いが、大会自体は特に大きな問題はなく、発表の場を提供できたことは、読書活動の推進に寄与できたと考えるが、出場者の増加を図ることに課題が残る。また、児童自らが出場してみたい、保護者が自分のこどもを出場させたいと思えるよう発表の場に改善を図る必要があるため、左記の総合評価とした。

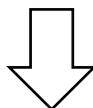
学識経験者の意見	
11	<ul style="list-style-type: none"> ○本大会の実施により、児童に対し、読書に親しむだけでなく多くの人の前で発表するという貴重な機会を提供できた。 ○課題である出場者の増加のため、改善・努力を重ねられている。今後も、周知の時期、方法、学校や保護者との連携など、様々な創意工夫により、児童の心に残る大会になることを期待する。 ○参加者を一人でも多く募るために、早い時期に申し込みを行い、学校全体に童話発表会を認知させ、学校からの声かけを促してもらいたい。 ○参加者のみならず、その発表の雰囲気を感じさせるために、プログラムを前もって学校に配付し、担任や児童が応援に行けるようにしてほしい。 ○聴きにきた児童も本番の雰囲気を味わい、次年度への挑戦につなげることができたらと考える。 ○子供たちの表現力の成長につながるいい取り組みと考える。小学生だけではなく中学生の参加や、英語での発表なども検討してみたいと思う。 ○発表の様子をDVDで視聴できるよう対応いただいているが、可能であればHP等でQRコードを読み込んで動画視聴できるような形をとれないかと思う。

教育委員会の評価	
12	<p>総合評価</p> <p>B</p> <p>本大会は、「童話に親しむとともに、創作活動を通して創造性を高める機会を与え、読書意欲の向上と豊かな人間性の育成を図る」という教育的価値の高い目的を持った大会であることから、今後も継続していくべきと考えるが、何が現状として問題であるかを整理する必要がある。</p> <p>学校やPTA、保護者に協力を求め、共催者の意見意向を十分に聞き、アイデアや企画を募集する等参加者が増加する方法を検討していく。</p> <p>今後、予選会を実施できるような参加児童数の増加を図るため、大会の認知度の向上や早めの周知活動、学校及びPTA等の関係機関との連携強化等、大会運営に関して再検討する必要があることから、「B」を選択した。</p>

《 基本理念 》

本市は、「みんなが幸せを感じるまち。ずっと住み続けたいまち。ひとよし」をまちづくりの理念として掲げています。本市教育は、このまちづくりの理念のもと、市民一人一人が自ら学ぶ意欲を養うことで、将来の夢や希望に向かって自らの可能性を高め、人間力（人として生きる力）を育み、心身ともに健康で豊かな人生を送ることができる生涯学習社会の実現を目指します。

このため、学校・家庭・地域社会がそれぞれの役割と責任を自覚し、相互に連携協力しながら、社会状況の変化に対応する教育の向上に取り組み、豊かな人間性と創造力・国際性を備えた人材の育成や、たくましく生きる力を育む教育を推進します。



《 教育目標 》

I 生きがいを持って活躍できる生涯学習とスポーツ環境の整備

市民が、生涯にわたって自発的に学び、芸術・文化・スポーツなどに親しむことを通して、生きがいを持って活躍できる生涯学習・スポーツ環境の整備を推進します。

II 家庭・地域の教育力の向上と協働の推進

家庭や地域の教育力の向上に向けた取組を推進するとともに、学校、家庭、地域社会が協働・連携して子どもを育てる環境づくりを推進します。

III 「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育の推進

子ども一人一人の個性を尊重してその能力を伸ばし、個人として、社会の一員として「知・徳・体」の調和のとれた生きる力を育む学校教育を推進します。

IV 人吉市民としての誇り、郷土愛を育む歴史・文化環境の整備

豊かな自然とそれを背景に培われた歴史と文化を守り、活用に努めるとともに、人吉市民としての誇り、郷土愛を育む環境整備を推進します。